

スポーツ イン ライフ
Sport in Lifeアワード2021 自治体部門優秀賞

サーチウォークイベントがスポーツ庁から表彰



11月のイベントには150人が参加

振興会が準備を進めています。

2020年に市内で実施したサーチウォークイベントが、スポーツ庁から表彰されました。「コロナ禍にできるイベントを住民と一緒に作り、コミュニティもできる素晴らしい取り組み」と評価されました。

サーチウォークは、指定された電柱を探し当てる競技。感染症の影響で多くのイベントが中止になる中、市とスポーツ推進委員が連携し実施しました。表彰は、スポーツ人口の拡大に向けた取り組みが対象で、全国85団体から応募があり12団体が受賞しました。今後も各地区で開催できるように、体育振興会が準備を進めています。

精進を続け市の活性化にもつなげたい

落語家の立川志ゑんさんが真打ち昇進を市長に報告



市長に意気込みを語った志ゑんさん(左)

飯山在住の立川志ゑんさんが、落語家の最高位・真打ちへの昇進を市長に報告しました。3月下旬には、文化会館で記念の公演を開き、多くの市民らが昇進を祝福しました。志ゑんさんは、小鮎小・中学校、厚木西高校を卒業後、1999年に立川志らく氏に弟子入り。稽古を重ね、昨年9月に真打ち昇進が決まりました。志ゑんさんは「ここからがスタート。厚木を拠点に活動し続け、市の活性化にもつなげたい」と話しました。

あつぎ市民交流プラザでは、皆さんに親しみを持ってもらうため、志ゑんさんの扇子や手ぬぐいなどを4月14日まで展示しています。



広報あつぎ3月1日号と連動

「性差と役割」図書展を中央図書館で開催

27日まで実施しています。



展示は2階・大人の本のフロアで実施

「性差と役割」をテーマに特集記事を掲載した広報あつぎ3月1日号と連動し、中央図書館で企画展を実施しています。男女の役割や性別による「らしさ」、性的少数者などの本約80冊を集め、貸し出しています。展示場所には、広報あつぎの特集記事をポスターサイズで掲示。市民アンケートの結果をはじめ、育児中の正社員女性や育児休暇を取得した男性などを取材。加えて、中学生による「性差によってあっていいけどないけどあつぎ」を考える座談会の様子などが見られます。会場では、4月から始まるパートナーシップ宣誓制度の内容も紹介しています。企画展は、4月27日まで実施しています。

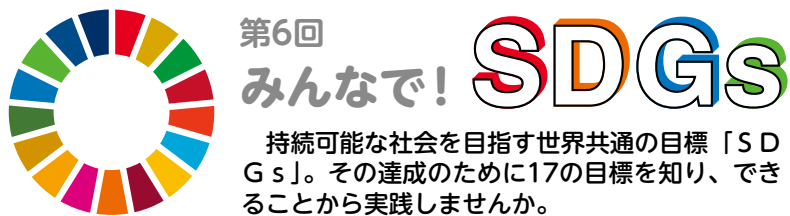
市民に元気と勇気をありがとう

北京2022冬季五輪出場の大塚健選手を特別表彰



市長から記念の花束を受け取る朋美さん(中央)

2月の北京冬季五輪・スノーボード競技に出場した大塚健選手の活躍をたたえ、特別表彰を贈りました。表彰式には、海外遠征中の大塚選手に代わり、両親が出席。表彰状と記念品、花束を小林市長から受け取りました。大塚選手は、スロープスタイルとビッグエアの2種目に出場しいずれも決勝進出。ビッグエアでは95点の大会最高得点を記録するなど、挑戦し続けた姿をたたえ表彰が決まりました。表彰式で父の暁さんは「これからも挑戦は続くので、温かい目で応援してもらいたい。母の朋美さんは「皆さんからたくさん応援を頂きうれし。小さいころから親子で頑張ってきたので、大きな舞台に立ててよかった」と話しました。



第6回

みんなで!

SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できることから実践しませんか。

目標16 平和と公正をすべての人に
世界のどこかで、5分に1人、子どもが暴力によって亡くなっています。世界中の紛争や暴力をなくし、全ての人々が法律や制度で守られる社会を目指しましょう。



できる取り組みは?



世界の現状を知り、発信してみよう
世界各地で起こっている紛争を個人が解決するのは困難です。しかし、SNSでの情報発信など、できることもあります。多くの人が知ることで、大きな支援につながる可能性もあります。現状を知り、伝えることは、立派な支援の一つです。

政治に関心を持つ

公正な社会を実現するためには、権力が偏ることなく、多くの人が政治に参加する必要があります。政治に関心を持ち、選挙を通じて意見を届け、公正な社会をつくっていきましょう。

企画政策課 ☎225-2450

2月15日、北京2022冬季五輪の男子スノーボード競技・ビッグエア決勝。厚木市出身の大塚健選手の活躍を、多くの皆さんが固唾を飲んで見守られたことと思います。ここに至るまでには、けがなど数々の困難があったと聞いています。大舞台でも失敗を恐れず、果敢にチャレンジする姿に私も勇気を頂きました。さて、桜の開花とともに、新しい年度が始まりました。今年の市政運



市議会第1回会議で施政方針を表明

「もうこれで満足だ」という時は、すなわち衰える時である。日本の資本主義の父・渋沢栄一の言葉です。市民の皆さんと培ってきた市民協働を推進力に、将来を見据えて前に進んでまいります。

のが、皆さんの命を守る取り組みです。昨年、市内で交通事故により尊い命が失われました。改めて「交通事故死亡事故ゼロ」の実現を目指し、道路の安全確保などに取り組みます。

のテーマは「前進」です。新型コロナウイルス感染症の影響は続いています。立ち止まっています。新年度の前算も、前に進む強い思いを込めて編成しました。総額は1591億円を超え、過去最大です。特に力を入れている